

三浦市は、2020年5月に2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロの実現を目指す「ゼロカーボンシティみうら」を宣言しました。

この通信では、「ゼロカーボンシティ」を目指して地球温暖化・省エネ・再エネに関するトピックなどをお知らせします。

前号のおさらい

- ・CO₂の排出を減らすには、再生可能エネルギー（例えば、太陽光、風力等）の利用も有効
- ・太陽光パネルや蓄電池の導入に対し、県や市からの補助がある

【参考】

県の脱炭素に関する情報のポータルサイト：

<https://www.pref.kanagawa.jp/osirase/0502/kanagawa-datsutanso-portal/>

市の補助金に関するホームページ：

<https://www.city.miura.kanagawa.jp/soshiki/kankyoka/syouenedatutanso/11223.html>

※補助を受けるにはそれぞれの要件を満たす必要があります。

※各事業は予算がなくなり次第、受付を終了します。

一部の県事業は掲載時点（令和7年9月）で受付終了しています。

今号では、照明に関するトピックを掲載します。

蛍光灯がなくなる？！

蛍光灯には水銀が使用されており、健康や環境へのリスクがあることから、「水銀に関する水俣条約」において、蛍光灯の製造や輸出入の規制が決定されており、2027年末までに一般的な照明用の蛍光灯の製造・輸出入が終了します。

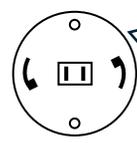
それまでの在庫があるため、すぐに蛍光灯がなくなるわけではありませんが、品薄・価格の高騰、最終的には入手できなくなると考えられます。このため、蛍光灯をLEDに切り替える必要があります。



LEDへの切り替え

蛍光灯からLEDに切り替える方法は、照明器具の種類や「ひっかけシーリング」の有無、蛍光灯の種類によって異なります。

光源（ランプ）をLEDに交換するだけで済む場合、照明器具を交換する必要がある場合、専門家の工事が必要な場合がありますので、以下の経済産業省のページ「蛍光灯からLED照明への切り替えはお済みですか？」を参考にしてください。



ひっかけシーリング
(イメージ)
天井に左のような器具がついて
います。図は一例で、
四角形もあります。

照明器具と光源（ランプ）の組み合わせを誤ると、点灯しなかったり、発煙や発火のおそれがあります。

【参考】経産省「蛍光灯からLED照明への切り替えはお済みですか？」

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/joho/led_shomei/index.html

LED照明のメリット

¥ & CO₂ ↓

LED照明は、蛍光灯よりも消費電力が少ないため、電気料金とCO₂排出量を抑えることができます。さらに、長寿命なため、交換の手間も軽減できます。